

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ～ 平成33年 3月31日
3. 業務の範囲	(1) 脇之島公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 脇之島公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P144、145 (利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:41.0%(平均値比103.8% =41.0÷39.5%) 研修室(1):26.3%(平均値比88.3% =26.3÷29.8%) 研修室(2):30.4%(平均値比102.0% =30.4÷29.8%) 和室(1):16.8%(平均値比89.8% =16.8÷18.7%) 和室(2):23.7%(平均値比98.3% =23.7÷24.1%) 料理実習室:11.3%(平均値96.6% =11.3÷11.7%)	4点	
					平均値比(97%)=利用率(24.9%)÷25.6%(上記(2)適用)					
		②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	年次報告書P144、145 (利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:16,412人(平均値比110.8% =16,412人÷14,813人) 研修室(1):5,149人(平均値比106.0% =5,149人÷4,859人) 研修室(2):5,057人(平均値比108.4% =5,057人÷4,666人) 和室(1):2,706人(平均値比95.5% =2,706人÷2,834人) 和室(2):3,097人(平均値比96.5% =3,097人÷3,210人) 料理実習室:1,161人(平均値93.6% =1,161人÷1,241人)	5点		
				平均値比(106%)=利用人数(延べ33,582人)÷31,621人(上記(2)適用)						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P147～164(文化事業一覧) ①公民館まつり ・マイタウンフェスティバル ステージ部門 435人 展示部門 650人 ②地域意識醸成事業 ・地域協働コンサート 464人 ・地域連携事業ホワイトカレッジ(合同防災訓練ほか10事業 2,519人) ・ふれあい予防医療講座(動脈硬化と心臓血管病ほか10講座 259人) ・指先運動で脳活性! 初心者コース折紙教室 168人 ・見て・考えて・折る! ワンラックアップコース折紙教室 108人 ・折紙指導者育成! 中級から上級へステップアップ折紙教室 108人	仕様書以上 14点	・公民館まつりの展示部門において、昨年に引き続き地域の幼稚園、小・中学校、消防団の作品を展示し、今年度新たに乳幼児の手形アートコーナーを設け、より幅広い世代に参加いただき、地域ぐるみでつくりあげる公民館まつりとなった。 ・地域協働コンサートは、少子化・高齢化が進む地域課題を小学校と共有し、多世代間交流事業として開催でき、協働体制の強化につながった。 ・ホワイトカレッジは、高齢化が進む郊外住宅の明るい未来を照らす方策として各種団体との共催事業により、地域住民の健康的な暮らしをサポートした。 ・各種折紙教室は、ふれあいセンターわきのしまと共催で実施し、高齢者の仲間づくりの場となった。	14点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P147～164(文化事業一覧) ・市の政策課題:・親育ち4.3.6.3たじみプラン協賛事業(親子で挑戦! 軽スポーツを楽しむ! ほか 13事業 10,019人) ・市の政策課題:運動チャレンジ講座ほか3事業 1,496人 ・トータル健康サポート(介護予防脳トレ講座・ほっとサロン 9回 110人、スマイルシェイプアップ前後期 1264人、卓球クラブほか3事業 1,451人) ・サロン事業(脳トレ体験&囲碁将棋コーナー 180人) ・団塊世代対応(男性限定 蕎麦打ち体験講座、古典入門講座前後期、古事記入門講座前後期 706人) ・その他の文化講座(ココロとカラダにやさしい料理、ふれあい囲碁・将棋大会、音楽の日、学習の日、同好会支援の体験講座、中級卓球教室など 1,790人) ・わきのしまギャラリー 16展 29,594) ・たじみオープンキャンパス 4講座 190人	期待以上 14点	・親育ち4.3.6.3たじみプラン協賛事業の介護予防脳トレ講座・ほっとサロン&公民館体験講座 公民館先生になろうは、小学校3年生の児童がサポーターとして脳トレプリントの準備、ゲームの企画進行などを担い、地域の高齢者との交流の場となった。 ・運動チャレンジ講座などは、保健センターと共催で乳幼児親子から一般まで参加できる講座となった。 ・サロン事業は、サロンに囲碁・将棋と脳トレ講座で使用した教材を常設し、小学生から高齢者まで気軽に参加でき、地域住民の憩いの場となった。 ・団塊世代対応の男性限定 蕎麦打ち体験講座は、今後の利用につなげるため、利用の少ない男性をターゲットに実施された。 ・ふれあい囲碁・将棋大会は、川南の3つの公民館との交流事業として開催し、他の公民館参加者との交流を図りながら、日ごろ対戦しない相手との対局を楽しむことができた。 ・同好会支援の体験講座は、サークル活動を気軽に体験できる機会を設け、参加加入の支援を行うことができ、次年度から3～4名の新規加入が得られた。	14点		
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃		①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P166(維持管理業務) 施設内清掃(基準:毎日)を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点		
		②保守・点検			年次報告書P166(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施 ・自動扉装置保守(基準:年2回)・・・年2回実施 機械警備業務を委託して実施(毎日)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
		③保安・警備		※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点		適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
		④小規模修繕			年次報告書P166.167(有償修理の内訳) 有償修理 21件 総額 751,611円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			

2	施設管理状況 (25点)		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	10		・危険箇所の把握を、全職員担当制で行い、未然事故防止を図っている。また、職員間での情報を共有により安全管理に努めている。 1.日常点検 ・チェック表(39点検項目)による日常各種点検(毎日2回)。 ・職員立ち合いによる、使用後点検(8点検項目)を実施。 2.月次点検:公共施設点検マニュアルに沿って点検を実施。 ・定期点検(月2回)主に夜間職員、電気工作物月次点検は業者委託により実施。 3.年次点検 ・非常灯・誘導灯の点検(職員による点灯確認2回)業者点検を含め年4回実施。 ・消防用設備等点検、電気工作物年次点検、建築基準法に基づく定期調査業務を業者委託により実施。 3.緊急安全点検 ・災害発生時に、強風対策(飛散物撤去および固定)を実施。 ・発生後は、不具合がないか館内外の点検を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	1.多治見市ファイリングシステム維持管理に沿った、ファイル基準表を作成し、毎日維持管理を徹底をしている。文書は全職員(夜間職員含む)で回覧し、情報を共有している。 2.個人情報を含む書類の適切な管理をしている。広報等の外部文書は書式にそって作成し、管理者が最終確認を行い発行している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			・職員での施設内点検(日常、月次、半年)と巡回体制、衛生管理と備品の安全確認、花いっぱいの公民館(玄関)施設周辺の美化清掃活動、省エネ対策(LEDへの交換、エアコンの適正温度の呼びかけ)を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			1.安全対策 ・非公募車椅子・手摺の点検及びメンテナンスを毎月実施。 ・玄関前のタイルの段差、大ホール床の補修工事。 ・避難経路の見通しを良くし、避難経路には物を置かないようにしてる。 2.快適な環境づくり ・ロビーのソファを肘掛けのある形状のものに交換。 ・受付にステッキホルダーを備えたサイドテーブルを新設設置。 ・休憩時に腰を下ろしたり靴の履替え用にホールの一角に長椅子を設置。 3.わかりやすい表示 ・全館トイレ表示を大きく見やすくした。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			1.備品の使用について ・定位置を決めて保管し、利用者が使いやすいようにしている。 ・使用報告書(使用後)提出時に、職員が利用者と一緒に、点検を行っている。 2.備品管理 ・経年劣化した備品を安全で使い易い新品に交換。(机・椅子) ・利用者のニーズに応える備品の交換、選定(卓球台2台・調理器具・電気製品(ポット・卓上ケトル)) ・毎月、夜間職員を担当割し、各部屋の備品、安全点検を実施。 3.利用団体の備品 ・原則、利用団体の備品は預かっていないが、管理者(館長)が許可をしたものは「備品預かり書」受領し、管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			・個人情報の取り扱い(個人情報保護に関する方針)に基づき実施 ・団体・個人の承諾を得て、公民館保障制度に基づく緊急連絡先名簿を受領。 ・不要になった個人情報データは、シュレッダーで処理し、多治見市焼却場で焼却。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・感電事故(8月2日、利用者がホール内ラジカセプラグをコンセントに差し込んだ際に感電) ・感電後、意識はしっかりしていて歩行も正常でしたが、右手にしびれがあり、救急車にて多治見市民病院へ搬送(公用車で塚本が随行) ・翌日8月3日再診。異常はなく診療は終了 ・公民館補償制度での対応を行いました。 ・事故後館内すべての電源プラグを点検したが、異常なし。 ・館内における危機管理を徹底します。 ・毎月点検の実施(電源プラグの刃の変形、電源コードの傷み、電源プラグの熱)	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入21,734,808円÷支出20,989,861円＝104%	105%未満～100% 4点	適正な運営状況となっている。	4点	
	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・施設管理への要望とその対応 ◆要望:高齢化により会員が減少し、ホールの使用代金の支払いが運営上、難しくなっているので利用回数を減らしていくとの意見あり。 対応:現在土足使用をしている研修室に絨毯を用意して、運動団体が靴をぬいで使用できるようにした。 結果:軽スポーツのご利用が増えた。 ◆要望:卓球台の表面に亀裂があるのでピン球に変化が出てしまうため買い換えてほしい。 対応:卓球台2台を新品購入した。 ◆要望:ホールの床(数ヶ所)が亀裂しているので、足に引っ掛かるため改修してほしい。 対応:床の亀裂補修を実施。 ◆要望:ロビーの椅子が低いので、立ち上がりにくい。 対応:ロビーの椅子を高齢者が使いやすい椅子に交換、又、受付にステッキホルダー付き机を設置。 ◆要望:活動で使用する道具の持ち運びが困難になってきている。 対応:利用団体備品の預かり場所を確保した。 ◆要望から購入した消耗品(ポットを3台・Bluetoothスピーカー・調理道具・掃除機) ・事業へ要望とその対応 ◆要望:古典現地講座の要望。 対応:「宇治への研修旅行」を実施し、32名が参加、全員が次回の開催を希望された。 ◆要望:わきのしまギャラリー「昭和の名曲レコード展」を定期的に開催してほしい。 対応:令和元年度から、毎月「昭和のレコードを楽しむ会」を開催中。 ◆要望:健康サロンわきのしまの定員オーバーになり、落選者18人が運動の場がなくなってしまった。 対応:落選者の受け入れ講座として筋力アップ講座を増設し、令和元年度から定期講座として開講している。 ◆要望:中級レベルの卓球教室を開講してほしい。 ◆対応:新たに卓球教室を実施。	期待以上 8点	要望に対し、迅速かつ適正に対応した。 ・高齢化により会員が減少し、ホールの使用代金の支払いが運営上、難しくなっているので利用回数を減らしていくとの意見あり、現在土足使用をしている研修室に絨毯を用意して、運動団体が靴をぬいで使用できるようにした。 ・ロビーの椅子が低いので、立ち上がりにくいとの要望に対し、ロビーの椅子を高齢者が使いやすい椅子に交換、又、受付にステッキホルダー付き机を設置。 ・健康サロンわきのしまの定員オーバーになり、落選者18人が運動の場がなくなってしまったので、落選者の受け入れ講座として筋力アップ講座を増設し、令和元年度から定期講座として開講している。	8点	

4	より良い施設運営のための取組 (30点)	②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	◆苦情:駐車場の台数が少ないので、利用がしづらい 対応:事業で、利用が多いと予想される日は、近隣の多治見市有地の使用許可を得て、利用者に駐車場の案内をしている。 ◆苦情:公民館利用者がJAの駐車場に駐車しているJAに迷惑がかかっている。 対応:公民館としてJAへ謝罪し、利用者へはJA駐車場から車の移動を要請。 ◆苦情:エレベーターがなく高齢者、身障者には利用が困難。 対応:身障者が、2階を利用の場合は前もって連絡をもらい、夜間男性職員で対応できるようにしている。階段の登り口に「手荷物を一緒に2階へお持ちします」掲示し、利用団体の荷物は、極力一緒に運ぶように職員が心掛けている。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対し、迅速かつ適正に対応した。	4点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	1.地域の課題を実行し結果を出す事業運営 ・脇之島地域が置かれている状況を踏まえ事業を展開。 ・少子・高齢化が進む地域課題の解決を見据えた生涯学習の展開として、小学校との世代間交流の場を兼ねそえた「コンサート」を実施。 2.年々アップしている「講座受講生」前年度比120% 3.文化事業収入目標額1.4倍を達成。 4.わきっこ集まれ放課後クラブを通して、子ども達の居場所づくり、子ども達の放課後の見守りを実施。 5.高齢化の加速・健康推進・男性の居場所づくり「ほわいとカレッジ事業の充実」 6.地域住民の健康を応援「トータル健康サポート事業」の実施。 7.子ども事業(親育ち4.3.6.3たじみプラン協賛事業)の実施。 8.他施設連携事業「ふれあい囲碁・将棋大会」の実施。 ○施設建物管理面 1.不審者対策、利用者の安全対策として、セキュリティ面の強化が必要。 2.建物の老朽化(平成2年施工)による修繕管理。 3.安全対策及び衛生対策 4.花いっぱい公民館 5.高齢者への対応として、「認知症サポーター育成講座・中級講座」を新職員が受講。 6.アンケートを実施 7.職員一人一人が「お客様目線」を大切に、笑顔で親切な対応。 ○公民館事業面 1.第34区との連携事業(①区民と公民館が連携した、防災訓練の実施、②高齢者を中心に継続的な運動を推進する新規講座の開催、③出前ギャラリー(まなびパーク展示室)で折紙展を開催) 2.子どもの居場所づくりと世代間交流事業(親育ち4.3.6.3たじみプラン)(①中学生ボランティアの企画による事業展開、②世代間交流事業の実施、③子ども囲碁・将棋教室を開催) 3.男性の参加促進事業の実施 4.たじみオープンキャンパス事業誘導	期待以上 14点	より良い施設運営・事業実施のための提案がなされている。 ・少子・高齢化が進む地域課題の解決を見据えた生涯学習の展開として、小学校との世代間交流の場を兼ねそえた「コンサート」を実施。 ・子どもの居場所づくりと世代間交流事業(親育ち4.3.6.3たじみプラン)(①中学生ボランティアの企画による事業展開、②世代間交流事業の実施、③子ども囲碁・将棋教室を開催) ・高齢化の加速・健康推進・男性の居場所づくり「ほわいとカレッジ事業の充実」	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点	極めて良好